

公益財団法人日本アレルギー協会 平成26年度事業概要報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

本 部

(敬称略)

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究助成事業</p> <p>1. 自由課題研究助成</p> <p>(1) 関西・北陸地区2府7県喘息患者実態追跡調査</p> <p>(2) ガイドラインに基づいた小児気管支喘息コントロールテスト(6～15才用)開発に関する研究</p> <p>(3) アラスタット3gAllergyを指標として食物負荷試験結果を予測するプロバビリティーカーブ確立に関する多施設共同試験</p> <p>(4) バラ科果物アレルギーの病態および抗原解析</p> <p>(5) 鼻炎合併喘息患者におけるQOLに関する観察研究</p> <p>2. 国際交流基金による助成金交付</p> <p>3. 真鍋奨学助成</p>	<p>東田有智(近畿大学医学部) 研究期間:平成26年1月～平成27年3月</p> <p>藤澤隆夫(国立病院機構三重病院) 研究期間:平成26年4月～平成27年3月</p> <p>藤澤隆夫(国立病院機構三重病院) 研究期間:平成27年4月～平成28年3月</p> <p>近藤康人(藤田保健衛生大学) 研究期間:平成26年10月～平成29年9月</p> <p>大田 健(国立病院機構東京病院) 研究期間:平成25年12月～平成27年12月</p> <p>日本人の海外での研究発表等、外国人の日本での研究発表、講演に対して交付 1年に2回審査しており下記3名に対して助成金交付</p> <p>平成26年度前期申請 平郡真記子(広島大学病院皮膚科) 杉田篤子(産業医科大学医学部精神医学)</p> <p>平成26年度後期申請 杉浦至郎(あいち小児保健医療総合センター)</p> <p>平成26年5月30日(金)運営委員会開催 第4回応募者19名の中から下記5名の研究者に受賞決定</p> <p>石井幸雄・森島祐子(筑波大学医学医療系) 「アレルギー性気道炎症における細胞応答機構の解明とステロイド抵抗性治療への応用」</p> <p>武田吉人(大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学)</p> <p>「エクソソームによる呼吸器疾患の画期的バイオマーカー探索」 檜澤伸之(筑波大学医学医療系呼吸器内科)</p> <p>「新規喘息感受性遺伝子<i>HAS2</i>及び<i>PBMUCL2</i>の喘息Phenotypeに与える影響」</p> <p>釣木澤尚実(国立病院機構相模原病院) 「好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の病態解明における分子生物学的研究」</p> <p>鈴木真穂(国立病院機構東京病院) 「肥満による難治性喘息の病態形成メカニズムの解明」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>II. 研修会事業</p> <p>(1) 賛助会員向け研修会 日時：平成 27 年 3 月 6 日（金） 場所：東医健保会館 参加人数：32 名</p>	<p>主題：アレルギー疾患の研究・診療における最近のトピックス 開会挨拶：宮本昭正（日本アレルギー協会理事長） 座長：宮本昭正（日本アレルギー協会理事長） 講演：山口正雄（帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学） 「アナフィラキシーガイドライン～症状改善後の対応も含めて～」 相原道子（横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学） 「加水分解小麦による経皮感作の問題点と予後」 座長：土橋邦生（日本アレルギー協会研修担当理事） 講演：吉原重美（獨協医科大学小児科学） 「ウイルス感染と小児気管支喘息～RS ウイルスを中心に～」 檜澤伸之（筑波大学医学医療系呼吸器内科学） 「フェノタイプに基づく喘息治療」 閉会挨拶：宮本昭正（日本アレルギー協会理事長）</p>
<p>III. 啓発活動事業</p> <p>(1) 第 21 回アレルギー週間 ①企画 ②後援 ③啓発用ポスターの作製と配布 ④広報</p> <p>(2) アレルギー週間中央講演会 日時：平成 27 年 2 月 22 日（日） 場所：砂防会館別館 1 階 参加人数：306 名</p> <p>(3) 「Allergy Today」発行</p> <p>(4) 患者相談協力専門医等名簿発行</p> <p>(5) 専門医等紹介事業</p>	<p>1) 統一標語：「アレルギーの克服に向けて」 2) アレルギー週間行事等 3) 本部・支部啓発活動</p> <p>厚生労働省、(公社) 日本医師会、(一社) 日本アレルギー学会</p> <p>1) A4 サイズポスターの製作 2) 配布先：都道府県衛生部、全国保健所、都道府県市医師会、患者相談専門医等名簿掲載医師、薬局、患者団体等 3) 配布数：10,200 枚</p> <p>1) 本部・支部の講演会、医療相談会等の行事紹介 読売新聞全国版：平成 27 年 2 月 8 日（日） 2) 協会ホームページ、メディアによる啓発報道</p> <p>テーマ：「アレルギー疾患治療の最前線」 主催：(公財) 日本アレルギー協会、(独) 環境再生保全機構 後援：厚生労働省、(公社) 日本医師会、(一社) 日本アレルギー学会 総合司会：宮本昭正（日本アレルギー協会理事長） 主催者挨拶：宮本昭正（日本アレルギー協会理事長） 藏重徹雄（環境再生保全機構理事） 講演：西牟田敏之（国立病院機構下志津病院名誉院長） 「小児気管支喘息の治療管理」 足立 満（国際医療福祉大学教授） 「成人気管支喘息の最新治療」 後藤 穰（日本医科大学多摩永山病院病院教授） 「花粉症の最新治療」 下条直樹（千葉大学大学院医学研究院小児病態学教授） 「食物アレルギー治療の現状と未来」 パネルディスカッション：総合司会、各演者</p> <p>アレルギー疾患を持つ患者およびその家族を対象としたニュースレターを患者会、個人会員、賛助会員等に年 4 回発行、配布 平成 26 年度版患者相談協力専門医等名簿の発行と配布 患者からの電話による問い合わせに対して専門医等を紹介</p>

実 施 事 業	概 要
IV. 学術情報活動事業 (1) 「info Allergy」発行	アレルギー疾患の治療に携わる専門医、一般医、コメディカル、正会員、賛助会員向けに年4回発行、配布
V. 広報活動事業	JAANet Station の名称でホームページでの情報提供
VI. 受託抗原輸入代行業業	研究目的のため、研究者の要請に基づき抗原の輸入代行
VII. 会議の開催	第1回理事会 平成26年5月30日(金) 第1回評議員会 平成26年6月20日(金) 第2回理事会 平成27年2月27日(金) 第2回評議員会 平成27年3月13日(金)

実施事業	概要
I. 研究助成事業 自由課題研究助成 (1) Takayasu arteritis の予後不良因子の検討 (2) 関節リウマチに対する IL-6 阻害薬の有効性と寛解予測因子の検討 (3) 血管炎症候群における血栓形成リスクの解析 (4) 原発性免疫不全症の病態解析	小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 26 年 5 月～平成 27 年 4 月 小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月 小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 26 年 11 月～平成 27 年 10 月 有賀 正（北海道大学医学部小児科） 研究期間：平成 26 年 12 月～平成 27 年 11 月
II. 研究会事業 (1) 第 28 回北海道感染・免疫研究フォーラム（共催） 日時：平成 26 年 5 月 16 日（金） 場所：札幌医科大学 記念ホール 参加人数：33 名 (2) 第 4 回北海道緑内障ぶどう膜炎セミナー（後援） 日時：平成 26 年 5 月 30 日（金） 場所：ロイトン札幌 参加人数：35 名 (3) 第 18 回北海道アレルギー研究会（共催） 日時：平成 26 年 6 月 21 日（土） 場所：京王プラザホテル 参加人数：95 名 (4) 第 23 回札幌臨床免疫アレルギーの集い（共催） 日時：平成 26 年 7 月 16 日（水） 場所：札幌医科大学 臨床第一講義室 参加人数：約 76 名 (5) 第 27 回北海道小児リウマチ性疾患研究会（共催） 日時：平成 27 年 2 月 21 日（土） 場所：京王プラザホテル札幌 参加人数：約 50 名	一般演題：3 題 特別講演：内尾英一（福岡大学医学部眼科学教室） 「ウイルス性結膜炎の病態と診断 Update」 教育講演：水内一臣（北海道大学大学院医学研究科眼科学分野） 「様々なぶどう膜炎に対するシクロスポリン療法」 特別講演：濱中輝彦（日本赤十字社医療センター） 「ぶどう膜炎緑内障におけるシュレム管炎の果たす役割」 一般演題：4 題 特別講演：檜澤伸之（筑波大学医学医療系呼吸器内科） 「アレルギー疾患の遺伝子解析—その臨床的意義—」 一般演題：3 題 特別講演：上阪 等（東京医科歯科大学大学院膠原病・リウマチ内科学） 「次世代のリウマチ治療戦略を考える」 一般演題 4 題 特別講演：谷内江昭宏（金沢大学医薬保健研究域医学系小児科） 「全身型若年性特発性関節炎とは何か？：Adventure in Wonderland」
III. 啓発活動事業 第 20 回アレルギー週間 (1) 函館地区（主催） 日時：平成 26 年 4 月 5 日（土） 場所：函館市民会館 小ホール 参加人数：約 60 名	世話人：山田 豊（函館中央病院小児科） 講演：高橋秀一（高橋内科呼吸器科医院） 「成人ぜんそくの治療～吸入ステロイド薬の重要性～」 赤澤 茂（函館中央病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎とその治療について」 保科大地（函館中央病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎—最近の話題—」 小島公一（こじまキッズクリニック） 「子どものぜんそく管理」

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 札幌地区（主催） 日時：平成 26 年 4 月 19 日（土） 場所：札幌市医師会館 大ホール 参加人数：120 名</p> <p>(3) 旭川地区（主催） 日時：平成 26 年 5 月 17 日（土） 場所：旭川北洋ビル 大ホール 参加人数：約 100 名</p> <p>(4) 帯広地区（主催） 日時：平成 26 年 5 月 17 日（土） 場所：帯広厚生病院 講堂 参加人数：72 名</p>	<p>世話人：高橋裕樹（札幌医科大学第一内科） 北市伸義（北海道医療大学眼科/北海道大学眼科） 講演：高木 大（北海道大学耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎 最近の治療」 北市伸義（北海道医療大学眼科/北海道大学眼科） 「アレルギー性結膜疾患 最近の治療」 高橋 豊（KKR 札幌医療センター小児科） 「アレルギーなんか怖くない 食物アレルギーのお話」 高橋裕樹（札幌医科大学第一内科） 「知っておきたい薬の副作用」</p> <p>世話人：大崎能伸（旭川医科大学呼吸器センター） 講演：秋葉裕二（旭川厚生病院呼吸器科） 「成人の気管支ぜんそくについて」 古谷野伸（旭川医科大学小児科） 「食物アレルギーへの正しい知識と対応法」 丹保亜希仁（旭川医科大学救急医学講座） 「アナフィラキシーの対応～エピペンの使い方～」</p> <p>世話人：高村 圭（帯広厚生病院第一内科） 講演：川村信明（市立札幌病院小児科） 「こどもの喘息・食物アレルギー～最近の話題～」 乃村俊史（北海道大学病院皮膚科） 「ここまでわかったアトピー性皮膚炎」</p>
<p>IV. 会議の開催 支部幹事会</p>	<p>日時：平成 27 年 1 月 30 日（金） 場所：JR タワーホテル日航札幌</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究会事業 実地医家向け研究会 (1) 第 28 回東北小児喘息アレルギー研究会 日時：平成 26 年 5 月 25 日 会場：ホテルメトロポリタン盛岡本館 参加人数：90 名</p> <p>(2) 第 34 回秋田小児アレルギー研究会 日時：平成 26 年 7 月 5 日 会場：ホテルパールシティ秋田竿燈大通り 参加人数：46 名</p>	<p>【一般演題 I】 座長：赤坂 徹（もりおかこども病院小児科） 演者：岸 幹二（会津中央病院小児科） 「パンフレットによる吸入指導の実情」 演者：渡邊庸平（国立病院機構仙台医療センター小児科） 「入院治療を要した重症アトピー性皮膚炎 82 症例の検討」 演者：阿部 弘（JCOH 仙台病院小児科） 「アサリ・シジミによる非 IgE 依存性食物アレルギーが疑われた 1 例」 演者：浮津真弓（岩手医科大学小児科／あいち小児保健医療総合センターアレルギー科） 「卵および小麦経口負荷試験予測スコアの外れ値に対する検討」</p> <p>【一般演題 II】 座長：佐々木美香（もりおかこども病院小児科） 演者：林 千代（宮城県立こども病院総合診療科） 「仙台市の保育園（認可・認可外）における食物アレルギー対応に関するアンケート調査」 演者：曾田久美子（青森県立中央病院小児科） 「保育士の食物アレルギーに対する意識調査」 演者：三井直弥（三井病院小児科） 「学校での『食物アレルギー対応』研修の事前学習について～限られた機会を活かすために～」 演者：本間恵美（米沢市立病院小児科） 「米沢市における食物アレルギー及びアナフィラキシーに対する病教連携の取組み」 演者：高橋義博（大館市立総合病院小児科） 「エピペン学校訪問研修の成果と今後の課題」</p> <p>【特別講演 I】 座長：三浦克志（宮城県立こども病院総合診療科） 講演：伊藤浩明 （あいち小児保健医療総合センターアレルギー科内科） 「食物アレルギーの食事指導と社会的対応」</p> <p>【特別講演 II】 座長：山口淑子（山口クリニック） 講演：西間三馨（国立病院機構福岡病院 / 福岡女学院看護大学） 「喘息治療の変遷」</p> <p>【特別講演 I】 座長：高橋 勉（秋田大学小児科） 講演：今井孝成（昭和大学小児科） 「食物アレルギー・アナフィラキシーの適切な診断と対応」</p> <p>【特別講演 II】 座長：高橋 勉（秋田大学小児科） 講演：岡野光博（岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 「アレルギーとアレルギー免疫療法」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 第 48 回東北アレルギー懇話会 日時：平成 26 年 7 月 12 日 会場：山形国際ホテル 参加人数：78 名</p>	<p>【一般演題 Session1】 座長：鈴木民夫（山形大学皮膚科） 演者：佐藤文子（山形市立病院済生館皮膚科） 「ワラビアレルギーの 1 例」 演者：矢口順子（山形大学皮膚科） 「リンゴ摂取による食物依存性運動誘発アナフィラキシーが疑われた 1 例」 演者：竹之下秀雄（白河厚生総合病院皮膚科） 「当科で経験した特異な蕁麻疹 3 例」</p> <p>【一般演題 Session2】 座長：柴田陽光（山形大学第一内科） 演者：内海 裕（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 「尋常性乾癬の治療中に閉塞性障害が急速に進行した 1 例」 演者：宮坂智充（東北薬科大学病態生理学教室） 「アレルギー性気道炎症の性差における CD4+T 細胞ならびに CD8+T 細胞の役割」 演者：植木重治（秋田大学総合診療・検査診断学講座） 「アレルギー性炎症部位にみられる好酸球細胞死－ EETosis の特性について」</p> <p>【一般演題 Session3】 座長：太田伸男（山形大学耳鼻咽喉科） 演者：松原 篤（弘前大学耳鼻咽喉科） 「スギ花粉感作に関わる因子の疫学的検討」 演者：本田耕平（秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 「自動花粉センサーによる花粉観測の検討」 演者：高橋祐一（山形大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 「スギ花粉の飛散数に関する検討」</p> <p>【特別講演】 座長：鈴木民夫（山形大学皮膚科） 講演：森田栄伸（島根大学皮膚科） 「食物アレルギーと皮膚感作の病態」</p>
<p>(4) 第 10 回宮城県免疫アレルギー懇話会 日時：平成 26 年 7 月 26 日 会場：ホテル JAL シティ仙台 参加人数：29 名</p>	<p>【一般演題】 座長：相場節也（東北大学皮膚科）</p> <p>〔演題 1〕 講師：奥村有理（東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 「リンパ節生検施行前に悪性リンパ腫を示唆する因子について」</p> <p>〔演題 2〕 講師：石原志乃（大崎市民病院皮膚科） 「閉塞性細気管支炎を合併した腫瘍随伴性天疱瘡の 1 例」</p> <p>〔演題 3〕 講師：斎藤秀憲（宮城県立こども病院総合診療科） 「緩徐免疫療法と食事療法で摂取可能になった即時型米アレルギーの 2 例」</p> <p>【特別講演】 座長：香取幸夫（東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 講師：清水猛史（滋賀医科大学耳鼻咽喉科） 「アレルギーと鼻汁分泌」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 第4回いわて小児アレルギー疾患研究会 日時：平成26年8月23日 会場：ホテルメトロポリタン盛岡NW 参加人数：39名</p>	<p>【一般講演】 総合司会：赤坂 徹（もりおかこども病院） 山口淑子（山口クリニック）</p> <p>〔演題1〕 演者：佐々木美香（もりおかこども病院） 「小児科医の診るアレルギー関連の眼疾患－小児科医からの疑問点のまとめ－」</p> <p>〔演題2〕 演者：佐藤護人（佐藤耳鼻咽喉科医院） 「小児のアレルギー性鼻炎」</p> <p>【特別講演】 演者：高村悦子（東京女子医科大学眼科） （あいち小児保健医療総合センターアレルギー科内科） 「小児のアレルギー性結膜疾患」</p>
<p>(6) 第11回ふくしま小児アレルギー・喘息治療懇話会 日時：平成26年8月30日 会場：ホテルハマツ 参加人数：32名</p>	<p>【一般講演】 座長：生井良幸（太田総合病院附属太田西ノ内病院） 演者：隅越 誠（すみこしこどもクリニック） 「小児アレルギー疾患と漢方治療」 演者：澁川靖子（竹田総合病院小児科） 「会津地域における食物アレルギー児の対応」 演者：佐久間弘子（星総合病院小児科） 「経口負荷試験を施行した鶏卵アレルギー症例の予後」</p> <p>【特別講演】 座長：太神和廣（おおがチャイルドクリニック） 演者：望月博之（東海大学小児科） 「小児の喘息と慢性咳嗽の最前線－喘息と咳嗽のガイドラインを巡る話題を－」</p>
<p>(7) 第8回東北喘息/COPD研究会 日時：平成26年9月13日 会場：江陽グランドホテル 参加人数：111名</p>	<p>【特別講演Ⅰ】 座長：鈴木順造（福島県立医科大学生命科学部門） 演者：勝沼俊雄（東京慈恵会医科大学小児科） 「小児喘息診療のトピックス」</p> <p>【特別講演Ⅱ】 座長：山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野） 演者：永田 真（埼玉医科大学呼吸器内科） 「喘息治療の方向性」</p> <p>【特別講演Ⅲ】 座長：一ノ瀬正和（東北大学内科病態学講座呼吸器内科） 演者：金子 猛（横浜市立大学呼吸器病学） 「COPDの増悪と気道分泌」</p>
<p>(8) 第39回青森県アレルギー懇話会学術講演会 日時：平成26年10月9日 会場：ホテル青森 参加人数：38名</p>	<p>【特別講演】 座長：長谷川幸裕（青森県立中央病院呼吸器内科） 演者：松瀬厚人（東邦大学医療センター大橋病院呼吸器内科） 「呼吸器感染症と気管支喘息－ウイルスと真菌を中心に－」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(9) 杜の都 Allergic Rhinitis Seminar 2014 日時：平成 26 年 10 月 19 日 会場：ホテルメトロポリタン仙台 参加人数：25 名</p>	<p>【最新の話題 I】 座長：松原 篤（弘前大学耳鼻咽喉科） 演者：石田晃弘（山形市立病院済生館耳鼻咽喉科） 「鼻疾患におけるペンドリンとペリオスチン」 演者：高野賢一（札幌医科大学耳鼻咽喉科） 「鼻粘膜上皮をめぐって－病態から新治療戦略まで－」 演者：白崎英明（札幌医科大学耳鼻咽喉科） 「好酸球性気道炎症における第 2、第 3 のロイコトリエン受容体の役割」</p> <p>【最新の話題 II】 座長：小川 洋（福島県立医科大学会津医療センター耳鼻咽喉科） 演者：中丸裕爾（北海道大学病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎に対する手術療法」 演者：本田耕平（秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 「メタボリックシンドロームとアレルギー疾患」</p> <p>【特別講演】 座長：太田伸男（山形大学耳鼻咽喉科） 演者：岡野光博（岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 「アレルギー性鼻炎における minimal persistent inflammation とその役割」</p>
<p>(10) 日本アレルギー協会東北支部学術講演会 日時：平成 26 年 11 月 1 日 会場：江陽グランドホテル 参加人数：64 名</p>	<p>【特別講演 1】 座長：鈴木民夫（山形大学皮膚科） 演者：佐伯秀久（日本医科大学皮膚科） 「重症・難治性アトピー性皮膚炎に対する治療」</p> <p>【特別講演 2】 座長：三浦克志（宮城県立こども病院総合診療科） 演者：宇理須厚雄（藤田保健衛生大学） 「小児気管支喘息治療の変遷と今後の課題」</p> <p>【特別講演 3】 座長：一ノ瀬正和（東北大学呼吸器内科） 演者：松本久子（京都大学呼吸器内科） 「重症喘息の管理－呼気 NO と periostin による病態評価を含めて－」</p>
<p>(11) 第 50 回いわきアレルギー懇話会学術講演会 日時：平成 26 年 11 月 10 日 会場：Pure Belle Vie 参加人数：16 名</p>	<p>【特別講演】 座長：中西文雄（なかにし内科クリニック） 演者：木戸 博（徳島大学疾患酵素学研究センター） 「高性能タンパクチップの臨床応用：アレルギー・アトピーの発症機序と減感作療法への応用」</p>
<p>(12) 気道疾患対策セミナー 日時：平成 27 年 2 月 7 日 会場：江陽グランドホテル 参加人数：231 名</p>	<p>【気道疾患対策会議活動報告】 座長：本田耕平（秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 演者：佐野公仁夫（さのクリニック） 「副鼻腔炎と気管支喘息の合併に関する実態調査報告」</p> <p>【特別講演 1】 座長：松原 篤（弘前大学耳鼻咽喉科） 演者：太田伸男（山形大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 「上気道好酸球性疾患の下気道へ及ぼす影響～その病態とマネージメント～」</p> <p>【特別講演 2】 座長：高梨信吾（弘前大学保健管理センター） 演者：出原賢治（佐賀大学分子生命科学講座） 「気管支喘息における層別化医療の取り組み」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(13) 第 44 回岩手アレルギー・呼吸器懇話会 日時：平成 27 年 2 月 26 日 会場：ホテルメトロポリタン盛岡 NW 参加人数：48 名</p> <p>(14) 第 22 回福島県アレルギー研究会 日時：平成 27 年 2 月 28 日 会場：福島テルサ 参加人数：18 名</p> <p>(15) 第 15 回郡山アレルギー研究会 日時：平成 27 年 3 月 28 日 会場：ホテルハマツ 参加人数：28 名</p>	<p>【特別講演 3】 座長：山内広平(岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科) 演者：下条直樹(千葉大学小児科) 「小児気管支喘息の発症・増悪因子とその制御」</p> <p>【特別講演 1】 座長：千田勝一(岩手医科大学小児科) 演者：徳山研一(埼玉医科大学小児科) 「小児気管支喘息のアドヒアランスを高めるための患者教育」</p> <p>【特別講演 2】 座長：山内広平(岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科) 演者：星野 誠(国際医療福祉大学熱海病院呼吸器内科) 「気管支喘息の診療－診断から吸入指導－」</p> <p>【一般演題】 座長：大塚幹夫(福島県立医科大学皮膚科) 古田 実(福島県立医科大学眼科) 演者：佐藤 俊(福島県立医科大学呼吸器内科) 「経過中に IgG4 関連リンパ増殖性疾患を併発した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の 1 例」 演者：陶山和秀(福島県立医科大学小児科) 「リツキシマブが有効であった多発血管炎性肉芽腫症の小児例」 演者：小林浩子(福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科学講座) 「成人リウマチ熱の一例」 演者：花見由華(福島県立医科大学皮膚科) 「猫咬症によるアナフィラキシーの 1 例」 演者：大口泰治(福島県立医科大学眼科) 「当科で経験した眼窩肉芽腫の診断と予後の検討」</p> <p>【特別講演】 座長：山本俊幸(福島県立医科大学皮膚科) 演者：大槻マミ太郎(自治医科大学皮膚科) 「ヒスタミンとその受容体～新たな治療標的の可能性」</p> <p>【特別講演 1】 座長：前田真作(寿泉堂総合病院呼吸器内科) 演者：斎藤純平(福島県立医科大学呼吸器内科) 「気管支喘息のバイオマーカーについて」</p> <p>【特別講演 2】 座長：今野昭義(総合南東北病院アレルギー・頭頸部センター) 演者：岡本美孝(千葉大学耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学) 「アレルギー性鼻炎治療の新しい展開」</p>
<p>II. 啓発活動事業 第 21 回アレルギー週間事業 (1) 山形市 日時：平成 27 年 2 月 11 日 場所：山形ビッグウイング 参加人数：202 名</p>	<p>「アレルギーはこわくない」 司会：鈴木民夫(山形大学皮膚科) 講演：矢口順子(山形大学皮膚科) 「アトピー性皮膚炎について」 稲毛 稔(公立置賜総合病院内科) 「居住環境と気管支喘息」 鈴木祐輔(山形市立病院済生館耳鼻科) 「花粉症とのつきあい方」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 八戸市 日時：平成 27 年 2 月 28 日 場所：八戸市公会堂文化ホール 参加人数：204 名</p>	<p>「アレルギーとどう付き合うかー様々なアレルギーとその対処法ー」 座長：鹿内喜佐男（鹿内内科医院） 講演：安ヶ平英夫（八戸市立市民病院呼吸器科） 「アレルギーとせき～長びくせきはぜんそくにご注意」 富本和彦（とみもと小児科クリニック） 「こどもの食物アレルギー」 去石 巧（八戸市立市民病院耳鼻咽喉科） 「耳鼻科領域のアレルギー性疾患～アレルギー性鼻炎を中心～」 村井孝弥（八戸市立市民病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎～最近の話題～」 Q & A 質問コーナー</p>
<p>(3) 秋田市 日時：平成 27 年 2 月 28 日 場所：イオンモール秋田イオンホール 参加人数：70 名</p>	<p>「もう悩まない、食べ物のアレルギー」 司会：植木重治（秋田大学総合診療・検査診断学講座） 講演：菊池悠太（秋田大学医学部 6 年） 「アトピー患者が成長する体験談」 玉木真実（秋田大学総合診療・検査診断学講座） 「アレルギー・アナフィラキシーってどんなもの？」 鈴木朋美（市立横手病院アレルギー科） 「これって食物アレルギー？ Yes or No？」 中山真紀（秋田大学附属病院栄養管理部） 「食べ物アレルギーの献立のコツと注意点は？」 小松真紀（秋田厚生医療センター小児科） 「専門医はどう診療しているの？」 Q & A 質問コーナー</p>
<p>(4) 盛岡市 日時：平成 27 年 3 月 15 日 場所：いわて県民情報交流センター 参加人数：91 名</p>	<p>「知っておきたいアレルギーの病気」 座長：赤坂 徹（もりおかこども病院） 水城まさみ（国立病院機構盛岡病院） 小西一樹（盛岡繋温泉病院） 講演：須藤守夫（須藤内科クリニック） 「今年の花粉飛散状況について」 佐々木美香（もりおかこども病院） 「こどものぜんそく～その咳は風邪？気管支炎？肺炎？それとも喘息？～」 小林 仁（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 「おとなのぜんそく～コホコホ、夜の咳が止まらない～」 古和田浩子（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 「肺のアレルギー疾患～アレルギーによる肺炎ってなに？～」 質問コーナー</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 米沢市 米沢小児アレルギー教室 日時：平成 27 年 3 月 15 日 会場：アクティール米沢 参加人数：30 名</p> <p>(6) 福島市 日時：平成 27 年 3 月 21 日 場所：コラッセふくしま 参加人数：51 名</p>	<p>「米沢小児アレルギー教室 小児喘息・食物アレルギー・アトピー性皮膚炎－診療と実技の最前線－」 講演：斎藤誠一（舟山病院小児科） 「小児喘息について」 本間信夫（米沢市立病院小児科） 「食物アレルギーについて」 岡田昌彦（岡田こどもクリニック） 「アトピー性皮膚炎について」 小児アレルギーの実技指導： 須藤迪依（米沢市立病院薬剤部） 「小児喘息と指導（吸入、日誌、ピークフロー）」 佐藤直美（米沢市立病院療食科） 「食物アレルギーと食事指導」 本間恵美（米沢市立病院アレルギーエドゥケーター） 「アトピー性皮膚炎とスキンケア」</p> <p>「簡単にわかる大人のぜんそく～新しい検査法を体験してみよう！～」 第一部：喘息の新しい検査方法の体験 第二部： 座長：斎藤純平（福島県立医科大学呼吸器内科） 講演：粒来崇博（国立病院機構相模原病院アレルギー科） 「喘息をわかりやすくするために－新しい検査、呼気 NO 濃度測定の実用性－」 第三部：アレルギー質問・相談コーナー</p>
<p>Ⅲ. 定例会議 平成 26 年 7 月 12 日 平成 26 年 11 月 1 日</p>	<p>第 1 回東北支部世話人会（於：山形市） 第 2 回東北支部世話人会（於：仙台市）</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究会事業</p> <p>(1) 第 63 回新潟アレルギー研究会（共催） 日時：平成 26 年 6 月 14 日（土） 場所：チサンホテル&コンファレンスセンター新潟 参加人数：41 名</p> <p>(2) 第 64 回新潟アレルギー研究会（共催） 日時：平成 26 年 10 月 12 日（土） 場所：チサンホテル&コンファレンスセンター新潟 参加人数：28 名</p> <p>(3) 第 20 回アレルギーフォーラム in 群馬（共催） 日時：平成 26 年 12 月 12 日（金） 場所：前橋さくらホテル 3F 参加人数：30 名</p> <p>(4) 第 6 回栃木県耳鼻咽喉科フォーラム（後援） 日時：平成 27 年 2 月 19 日（木） 場所：ホテル東日本宇都宮 参加人数：69 名</p>	<p>特別講演：久米裕昭（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 「高齢者喘息と COPD の鑑別」 教育講演：笹川智幸（笹川眼科） 「眼科でのアレルギー疾患」 一般演題：2 題</p> <p>特別講演：藤島 浩（鶴見大学歯学部眼科） 「アレルギー性結膜疾患と環境因子」 教育講演：松野正知（新潟県立吉田病院小児科） 「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2012-改定 点と今後の課題について-」 一般演題：2 題</p> <p>特別講演：「小児気管支喘息治療の現状と課題」 座長：荒川浩一（群馬大学大学院医学系研究科小児科学） 演者：亀田 誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科）</p> <p>特別講演：「成人喘息領域における今後の展開と課題」 座長：土橋邦生（群馬大学大学院保健学研究科） 演者：石塚 全（福井大学医学部病態制御医学講座内科学(3)）</p> <p>一般講演：「2015 年栃木県におけるスギ花粉飛散予測」 座長：西野 宏（自治医科大学耳鼻咽喉科学講座） 演者：今野 涉（獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科）</p> <p>一般講演：「アレルギー性鼻炎治療において診療所でできること」 演者：菊池 恒（きくちクリニック）</p> <p>特別講演：「新生児聴覚スクリーニングの現状とピットフォール ～日常診療で小児難聴を見逃さないために～」 座長：春名眞一（獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 演者：守本倫子（国立成育医療研究センター感覚器・形態外科 部耳鼻咽喉科）</p>
<p>II. 啓発活動事業</p> <p>第 21 回アレルギー週間</p> <p>(1) 栃木県 日時：平成 27 年 2 月 14 日（土） 場所：栃木県教育会館大会議室 参加人数：27 人</p> <p>(2) 新潟県 日時：平成 27 年 2 月 15 日（日） 場所：新潟ユニゾンプラザ 参加人数：65 名</p>	<p>テーマ：アレルギー疾患の新しい治療法</p> <p>講演：武政聡浩（獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科） 「花粉症の新しい治療法－舌下免疫療法－」 石井芳樹（獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科） 「喘息の気管支鏡治療－気管支温熱形成術－」</p> <p>医療相談会</p> <p>講演：藤森勝也（新潟県立柿崎病院） 「気管支ぜんそく」 大湖健太郎（高知大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎」 松野正知（新潟県立吉田病院小児科） 「食物アレルギー」 笹川智幸（笹川眼科） 「アレルギー性眼疾患」 鈴木正治（鈴木耳鼻咽喉科医院） 「アレルギー性鼻炎」 齋藤幹央（新潟薬科大学臨床薬学研究室） 「薬剤アレルギー」</p> <p>医療相談会</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 茨城県 日時：平成 27 年 2 月 20 日（金） 場所：オークラフロンティアホテルつくば 参加人数：22 名</p> <p>(4) 茨城県 日時：平成 27 年 2 月 21 日（日） 場所：イーアスつくば 2 階 イーアスホール A/B 参加人数：52 名</p> <p>(5) 群馬県 日時：平成 27 年 2 月 28 日（土） 場所：群馬大学保健学科新棟 中講義室 参加人数：42 名</p>	<p>特別講演：「喘息とその併存症～不眠と鼻炎を中心に～」 座長：檜澤伸之（筑波大学医学医療系呼吸器内科） 演者：平松哲夫（平松内科・呼吸器内科小松ぜんそく睡眠リハビリクリニック）</p> <p>特別講演：「小児喘息の予後を改善し、喘息死を出さないためのアプローチを考える」 座長：市川邦男（筑波メディカルセンター病院小児科） 演者：松井猛彦（村立東海病院小児科）</p> <p>総合司会：檜澤伸之（筑波大学医学医療系呼吸器内科） 第一部：林 大輔（龍ヶ崎済生会病院） 「食物アレルギーの診断・治療」 第二部：森島祐子（筑波大学医学医療系呼吸器内科） 「あなたの咳や息切れはもしかしてアレルギー？」</p> <p>総合司会：土橋邦生（群馬大学大学院保健学研究科） 講演：西田 豊（群馬大学病院小児科） 「小児アレルギー・最近の話題」 天野博雄（群馬大学病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎－治療を中心に－」</p> <p>医療相談会</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 啓発活動事業 第 21 回アレルギー週間 (1) 埼玉地区 日時：平成 27 年 2 月 7 日（土） 場所：埼玉医科大学かわごえクリニック 6 階大会議室 参加人数：87 名</p> <p>(2) 山梨地区 日時：平成 27 年 2 月 8 日（日） 場所：山梨大学医学部臨床小講堂 参加人数：23 名</p> <p>(3) 千葉中央地区 日時：平成 27 年 2 月 11 日（水） 場所：千葉市文化センター 5 階セミナー室 参加人数：60 名</p>	<p>アレルギー週間市民公開講座 2015 ～正しい知識が治療の第一歩です。あなたも参加してみませんか～ 司会：永田 真（埼玉医科大学呼吸器内科）</p> <p>第 1 部 講演：上條 篤（埼玉医科大学耳鼻咽喉科） 「スギ花粉症」 福島康次（獨協医科大学越谷病院呼吸器内科） 「気管支喘息」 戸塚隆太（いわつき小児クリニック） 「食物アレルギー」</p> <p>第 2 部 公開質問</p> <p>山梨アレルギー市民フォーラム 2015 講演：松岡伴和（山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） 「花粉症～今年の花散飛散とその対策～」 塚本克彦（山梨県立中央病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎について」 池田久剛（山梨厚生病院小児科） 「食物アレルギーの理解と緊急時の対応」 杉山 剛（山梨大学医学部小児科学） 「気管支喘息とアレルギー発症メカニズム」 増山敬祐（山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） 「舌下免疫療法について」</p> <p>アレルギー週間市民公開講座 ～アレルギー疾患治療管理の最新知識～ 開会挨拶：西牟田敏之（国立病院機構下志津病院）</p> <p>第 1 部：講演 座長：河野陽一（千葉労災病院） 岡本美孝（千葉大学耳鼻咽喉科） 講演：井上祐三朗（千葉大学小児科） 「食物アレルギー：食事療法の進め方」 神戸直智（千葉大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎の治療のゴール」 米倉修二（千葉大学耳鼻咽喉科） 「スギ花粉症の治療はどこまで進んだか」 中島裕史（千葉大学アレルギー・膠原病内科） 「ぜんそくと上手につきあう」</p> <p>第 2 部：質問コーナー 座長：板谷喬起（板谷内科クリニック） 椿 俊和（つばきこどもクリニック） 相談回答者：第 1 部講演の講師 閉会挨拶：下条直樹（千葉大学小児科）</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(4) 神奈川県 日時：平成 27 年 2 月 15 日 (日) 場所：横浜新都市ビル (そごう) 9 階ミーティングルーム 参加人数：80 名</p>	<p>アレルギー週間市民公開講座 ～アレルギー疾患の克服に向けて～ アレルギー患者相談会 -アレルギー疾患の予防、治療法をより良く知るために- 講演：海老澤元宏 (国立病院機構相模原病院) 「アレルギー症状とその対策 (アナフィラキシー対策も含めて)」 個別相談： 小児科 (食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・小児喘息など) 相談員：高増哲也 (神奈川県立こども医療センター) 海老澤元宏 (国立病院機構相模原病院) 皮膚科 (成人アトピー性皮膚炎・じんましんなど) 相談員：高橋一夫 (藤沢市民病院) 川口博史 (金沢皮膚科) 内科 (成人喘息・アレルギー性鼻炎など) 相談員：中村陽一 (横浜市立みなと赤十字病院) 谷口正美 (国立病院機構相模原病院)</p>
<p>(5) 東京城北・多摩地区 日時：平成 27 年 2 月 22 日 (日) 場所：国立病院機構東京病院大会議室 参加人数：49 名</p>	<p>アレルギー週間市民公開講座 ～アレルギーの克服に向けて～ 講演 1： 座長：庄司俊輔 (国立病院機構東京病院) 演者：大島信治 (国立病院機構東京病院アレルギー科) 「やさしい気管支喘息」 講演 2： 座長：大田 健 (国立病院機構東京病院) 演者：勝沼俊雄 (東京慈恵会医科大学附属第三病院) 「こどものアレルギーと家庭での対応」</p>
<p>(6) 長野地区 日時：平成 27 年 2 月 22 日 (日) 場所：信州大学医学部附属病院外来棟 4 階研修室 6/7 参加人数：約 60 名</p>	<p>信州アレルギー市民フォーラム 2015 開会の言葉：花岡正幸 (信州大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科) 講演 1：安尾将法 (信州大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科) 「おとなの喘息について」 講演 2：茂木英明 (信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科) 「アレルギー性鼻炎～花粉症について～」 講演 3：中沢孝行 (佐久医療センター小児科) 「こどもの食物アレルギー」 質問の時間： 閉会の言葉：藤本圭作 (信州大学医学部生体情報検査学)</p>
<p>(7) 千葉東部地区 日時：平成 27 年 3 月 1 日 (日) 場所：国保旭中央病院 3 階しおさいホール 参加人数：80 名</p>	<p>市民公開講座～アレルギー・アトピーの克服に向けて～ 開会の挨拶：岩本逸夫 (国保旭中央病院アレルギー・リウマチセンター) 第 1 部講演： 司会：本多昭仁 (国保旭中央病院小児科) 講演：下条直樹 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学) 「こどものアレルギーを治すために (食物アレルギーとアトピー性皮膚炎を中心に)」 第 2 部講演： 司会：平栗雅樹 (成田赤十字病院リウマチ・アレルギー内科) 講演：中島裕史 (千葉大学大学院医学研究院アレルギー・臨床免疫学) 「喘息の治し方」</p>

実 施 事 業	概 要
	<p>質問コーナー：</p> <p>司会：岩本逸夫（国保旭中央病院アレルギー・リウマチセンター） 関根邦夫（せきねこどもクリニック）</p> <p>回答者：下条直樹（千葉大学大学院医学研究院小児病態学） 中島裕史（千葉大学大学院医学研究院アレルギー・臨床免疫学） 皮膚科講師、耳鼻科講師</p> <p>閉会の挨拶：伊良部徳次（旭市医師会）</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究会事業</p> <p>(1) 第 16 回名古屋呼吸器研究会（後援） 日時：平成 26 年 5 月 29 日（木） 場所：ウエスティンナゴヤキャッスル 2 階 参加人数：86 名</p> <p>(2) 第 11 回岐阜小児血液免疫アレルギー難治疾患研究会（後援） 日時：平成 26 年 6 月 5 日（木） 場所：岐阜グランドホテル 参加人数：34 名</p> <p>(3) 第 9 回岐阜小児アレルギー・喘息研究会（共催） 日時：平成 26 年 6 月 19 日（木） 場所：岐阜グランドホテル西館 2 階花の間 参加人数 61 名</p> <p>(4) 第 7 回岐阜免疫・感染・川崎病研究会（後援） 日時：平成 26 年 7 月 24 日（木） 場所岐阜グランドホテル 参加人数：48 名</p> <p>(5) 第 55 回東海喘息研究会（後援） 日時：平成 26 年 9 月 18 日（木） 場所：メルパルク名古屋 2 階羽衣 参加人数：36 名</p>	<p>開会の辞：今泉和良（藤田保健衛生大学呼吸器内科・アレルギー科） 特別講演 1： 座長：山口悦郎（愛知医科大学呼吸器・アレルギー内科） 演者：松本久子（京都大学医学部附属病院呼吸器内科） 「成人喘息におけるステロイド低感受性について － GLCCI1 遺伝子を含めて」</p> <p>特別講演 2： 座長：縣 裕篤（愛知医科大学小児科） 演者：松本健治（国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー研究部） 「ウイルス感染と小児気管支喘息の関係」</p> <p>閉会の辞：柘植郁哉（藤田保健衛生大学小児科） 特別講演 座長：深尾敏幸（岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学） 講師：奥村彰久（愛知医科大学小児科） 「小児てんかん治療の考え方」</p> <p>開会の辞：松井永子（岐阜大学医学部附属病院小児科） 講演 1： 座長：深尾敏幸（岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学） 演者：寺本貴英（寺本こどもクリニック） 「アレルギー児への予防接種と投薬への注意」</p> <p>講演 2： 座長：近藤直実（平成医療短期大学／岐阜大学名誉教授） 演者：長尾みづほ（国立病院機構三重病院臨床研究部アレルギー疾患治療開発研究室） 「乳幼児喘息の治療選択～小児アレルギーのフェノタイプ～」</p> <p>閉会の辞：加藤善一郎（岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科） 特別講演 座長：深尾敏幸（岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学） 講師：森 雅亮（横浜市立大学附属市民総合医療センター） 「当院における難治性川崎病の治療戦略～冠動脈後遺症ゼロを目指して～」</p> <p>教育講演： 座長：長谷川好規（名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野） 演者：川部 勤（名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座） 「酸素療法再考－酸素はどっち、良薬？毒薬？－」</p> <p>特別講演 座長：長谷川好規（名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野） 講師：棟方 充（福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座） 「新しい喘息診断ツール：呼気 NO と FOT」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(6) 第 14 回愛知成人喘息研究会 (後援) 日時：平成 26 年 9 月 24 日 (水) 場所：名古屋マリオットアソシアホテル 16 階アイリス 参加人数：66 名</p>	<p>特別講演： 座長：平松哲夫 (平松内科・呼吸器内科小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック) 講師：尾崎紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの診療学分野) 「不眠と過眠の臨床：身体・脳・心の接点としての睡眠」 講師：陳 和夫 (京都大学大学院医学研究科呼吸睡眠制御学講座) 「気道疾患と睡眠障害」 パネルディスカッション： 座長：長谷川好規 (名古屋大学大学院医学研究科呼吸器内科学) パネリスト： 尾崎紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの診療学分野) 陳 和夫 (京都大学大学院医学研究科呼吸睡眠制御学講座) 平松哲夫 (平松内科・呼吸器内科小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック) 閉会の挨拶：平松哲夫 (平松内科・呼吸器内科小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック)</p>
<p>(7) 第 41 回東海花粉症研究会 (後援) 日時：平成 26 年 12 月 13 日 (土) 場所：名古屋グイヤビルディング 2 号館 2 階 222 会議室 参加人数：34 名</p>	<p>テーマ演題： 司会：内藤健晴 (藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科・気管食道科) 1. 村嶋智明ほか (藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科学教室) 「2014 年スギ・ヒノキ科花粉飛散結果 2015 年スギ・ヒノキ科花粉飛散予測」 2. 伊藤由紀子ほか (NHO 三重中央医療センター耳鼻咽喉科ほか) 「三重県津市久居地区でのスギ・ヒノキ科花粉の 2015 年予測と 2014 年飛散結果」 3. 水田啓介ほか (岐阜県耳鼻咽喉科花粉情報システム) 「岐阜県における 2014 年のスギ・ヒノキ科花粉飛散結果と 2015 年スギ・ヒノキ科飛散予測」 4. 田中孝治ほか (大垣市民病院薬剤科) 「大垣市民病院における 2014 年のスギ・ヒノキ科花粉飛散結果と、2015 年スギ・ヒノキ科花粉飛散予測」 5. 小林英臣ほか (日本気象協会) 「2014 年度の飛散結果と 2015 年の飛散予測について」 6. 横田 誠ほか (名古屋市立大学耳鼻咽喉科ほか) 「愛知県における 2014 年スギ・ヒノキ科花粉飛散結果と 2015 年スギ・ヒノキ科飛散予測」 7. 宇佐神篤ほか (東海花粉症研究所ほか) 「浜松市におけるスギ花粉飛散の 2014 年結果と 2015 年予測」 8. 都築秀明 (耳鼻咽喉科みやこクリニック) 「知多郡東浦町におけるスギ花粉の 2014 年飛散結果と 2015 年飛散予測」 9. 湯田厚司 (ゆたクリニック) 「三重県のスギ・ヒノキ花粉の 2014 年飛散結果と 2015 年飛散予測」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(8) 第 56 回東海喘息研究会 (後援) 日時：平成 27 年 3 月 5 日 (木) 場所：メルパルク名古屋 3 階シリウス 参加人数：57 名</p>	<p>一般演題： 司会：伊藤博隆 (いとうひろたか耳鼻咽喉科・アレルギー科) 講師：堀口茂俊 (飯田病院耳鼻咽喉科・アレルギー科) 「各種手法によるスギ・ヒノキ花粉量の測定値と臨床症状重症度との関連」</p> <p>特別演題： 座長：湯田厚司 (ゆたクリニック) 講師：近藤康人 (藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科) 「最近増えてきた果物アレルギー～口腔アレルギー症候群を中心に～」</p> <p>教育講演： 座長：廣瀬正裕 (藤田保健衛生大学呼吸器内科学 II 講座) 講師：白井敏博 (静岡県立総合病院呼吸器内科) 「喘息診療における呼気 NO と MostGraph のデータの見方」</p> <p>特別講演： 座長：堀口高彦 (藤田保健衛生大学呼吸器内科学 II 講座) 講師：石塚 全 (福井大学医学部病態制御医学講座内科学 (3)) 「気管支喘息治療の現状と今後の課題」</p>
<p>II. 啓発活動事業 第 21 回アレルギー週間 (1) 愛知県 日時：平成 27 年 2 月 15 日 (日) 場所：名古屋大学大幸キャンパス東館 4 階大講義室 参加人数：第 1 部 30 名、 第 2 部 17 名</p> <p>(2) 三重県 日時：平成 27 年 2 月 19 日 (木) 場所：三重大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科外来 相談者：1 名</p> <p>(3) 岐阜県 日時：平成 27 年 2 月 23 日 (月) 場所：岐阜大学医学部附属病院 1 階多目的ホール 参加人数：16 名 相談者：1 名</p>	<p>アレルギー週間市民公開講座・相談会 ー日常のアレルギー疾患、食物アレルギーと成人喘息の上手な対応ー</p> <p>開会挨拶：高木健三 (日本アレルギー協会東海支部長)</p> <p>第 1 部：講演 司会：松島充代子 (名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座) 講師：川部 勤 (名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座) 「おとなの喘息とのつきあい方と治療について」 坂本龍雄 (中京大学スポーツ科学部) 「こどもと大人の食物アレルギー：アナフィラキシーの予防と対策」</p> <p>第 2 部：質問コーナー 司会：松島充代子 (名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座) 相談回答医：川部 勤 (名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座) 坂本龍雄 (中京大学スポーツ科学部)</p> <p>閉会挨拶：高木健三 (日本アレルギー協会東海支部長)</p> <p>アレルギー性鼻炎と花粉症の医療相談会 相談回答医：竹内万彦 (三重大学病院耳鼻咽喉科)</p> <p>アレルギーについての講演および質疑応答 司会：松井永子 (岐阜大学大学院小児病態学) 講師：川本典生 (岐阜大学大学院小児病態学) 「学校・園でのアレルギー対応」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究会事業</p> <p>(1) 第16回北陸喘息治療研究会（後援） 日時：平成26年5月24日 場所：金沢ニューグランドホテル 参加人数：46名</p> <p>(2) 第35回富山免疫アレルギー研究会（後援） 日時：平成26年6月19日 場所：ANAクラウンプラザホテル富山 参加人数：43名</p> <p>(3) 北陸小児喘息治療研究会学術講演会（後援） 日時：平成26年6月21日 場所：ANAクラウンプラザホテル金沢 参加人数：40名</p> <p>(4) 第1回福井アレルギー疾患研究会（後援） 日時：平成26年9月4日 場所：フェニックス・プラザ 参加人数：54名</p>	<p>座長：林 龍二（富山大学第一内科） 講師：原 丈介（金沢大学附属病院呼吸器内科） 「関西北陸アカデミー ASIST 解析結果について」 座長：藤村政樹（独立行政法人国立病院機構七尾病院院長） 講師：石塚 全（福井大学医学部内科学（3）） 「成人喘息患者の自覚症状と気道炎症」</p> <p>座長：石田正幸（富山大学耳鼻咽喉科） 一般演題 1：伊東伸祐（富山大学耳鼻咽喉科） 「当科で経験した ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV) の 2 例」 一般演題 2：足立陽子（富山大学小児科） 「お好み焼による小麦依存性運動誘発アナフィラキシーが疑われた 17 歳男児例」 一般演題 3：長田夕佳（富山大学皮膚科） 「花粉誘導性眼周囲皮膚炎に及ぼすマクロファージ遊走阻止因子 (MIF) の影響」</p> <p>特別講演 座長：將積日出夫（富山大学耳鼻咽喉科） 講師：清水猛史（滋賀医科大学耳鼻咽喉科） 「慢性副鼻腔炎と好酸球性副鼻腔炎」</p> <p>特別講演 I 座長：中村利美（金沢医科大学小児科学） 講師：足立雄一（富山大学大学院医学薬学研究部小児発達医学） 「大気汚染と喘息」</p> <p>特別講演 II 座長：大嶋勇成（福井大学医学部病態制御医学講座小児科学） 講師：吉原重美（獨協医科大学医学部小児科学） 「ウイルス感染と小児喘息」</p> <p>特別講演 I 司会：藤枝重治（福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 講師：福富友馬（国立病院機構相模原病院臨床研究センター診断・治療薬開発研究室） 「花粉アレルギーとその関連食物アレルギー」</p> <p>特別講演 II 司会：大嶋勇成（福井大学医学部病態制御医学講座小児科学） 講師：伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センターアレルギー科内科） 「食物アレルギーの診断と食事指導」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 第 41 回北陸アレルギー研究会 (共催) 日時：平成 26 年 12 月 6 日 場所：金沢都ホテル 参加人数：50 名</p>	<p>特別講演 1 座長：武藤一彦 (むとう小児科医院) 講師：藤澤隆夫 (独立行政法人国立病院機構三重病院) 「どう変わった？最近の小児アレルギー：「始まり」から考える A good beginning makes a good ending」 座長：原 丈介 (金沢大学附属病院呼吸器内科) 一般演題 1：八木夏希 (石川県立中央病院) 「伝染性単核球症を契機にジェニナック® に薬剤感受性を獲得した 1 例」 一般演題 2：塚谷才明 (公立松任石川中央病院耳鼻咽喉科) 「Schizophyllum allergy; one airway one disease の観点から (Vol.1)－スエヒロタケによるアレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎の 2 例－」 一般演題 3：山村健太 (金沢大学附属病院呼吸器内科) 「Schizophyllum allergy;one airway one disease の観点から (Vol.2)－スエヒロタケによるアレルギー性気管支肺真菌症の 1 例－」 一般演題 4：小川晴彦 (石川県済生会金沢病院内科) 「Schizophyllum allergy;one airway one disease の観点から (Vol.3)－ Schizophyllum commune-associated sinobronchial mycosis (SAM) をかんがえる－」 一般演題 5：原 丈介 (金沢大学附属病院呼吸器内科) 「メサコリン吸入負荷による気道収縮と咳嗽の誘発アストグラフ法による検討」 座長：東馬智子 (金沢大学附属病院小児科) 一般演題 6：板澤寿子 (富山大学医学部小児科) 「アレルギー性鼻炎合併の気管支喘息児における鼻炎症状と喘息コントロール状態及び呼吸機能との関係」 一般演題 7：中村英夫 (中村小児科医院) 「アレルギー専門でない開業小児科外来で行っている植物経口負荷試験」 一般演題 8：村井宏生 (福井大学病院小児科) 「唾液中サーファクタントプロテイン D は気道炎症の指標となりうるか」 一般演題 9：榊原康久 (金沢大学医薬保健研究域医学系小児科) 「蚊刺過敏症症例における蚊特異的 IgE の検出；好塩基球活性化試験を用いた解析」</p>
<p>II. 啓発活動事業 第 21 回アレルギー週間 (1) 富山県 日時：平成 27 年 2 月 15 日 場所：富山総合福祉会館サンシップとやま 参加人数：43 名</p>	<p>第 21 回アレルギー週間記念行事 アレルギー疾患の講演と相談会 講演：中川 肇 (富山大学耳鼻咽喉科・経営企画情報部) 「アレルギー性鼻炎とつきあう」 足立陽子 (富山大学小児科) 「食物アレルギーと向き合う (誤食時の対応も含めて)」 牧野輝彦 (富山大学皮膚科) 「アトピー性皮膚炎－最近の話題－」 個別相談会</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 福井県 日時：平成 27 年 2 月 20 日 場所：福井大学附属病院 相談件数：10 件</p> <p>(3) 石川県 日時：平成 27 年 2 月 21 日 場所：金沢大学附属病院 参加人数：80 名</p>	<p>個別相談会 2015 アレルギー週間・福井アレルギー電話相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー性鼻炎・花粉症について（耳鼻咽喉科） ・成人の気管支喘息について（呼吸器内科） ・アトピー性皮膚炎について（皮膚科） ・小児の喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー（小児科） <p>第 21 回アレルギー疾患の講演と相談会 講演会：『アレルギー疾患：よりよいコントロールを目指して』</p> <p>濱口儒人（金沢大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎のよりよいコントロールを目指して」</p> <p>榊原康久（金沢大学小児科） 「食物アレルギーの管理」</p> <p>藤村茂人（金沢大学眼科） 「花粉症・アレルギー性結膜炎について」</p> <p>上野貴雄（金沢大学耳鼻咽喉科） 「花粉症の対策と最新治療」</p> <p>酒井珠美（金沢大学呼吸器内科） 「喘息発作をおこさないためにできること」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究助成事業 自由課題研究助成 (1) ウィルス感染症に関する研究 (2) マイボーム腺関連炎症疾患の病態の解明と治療法に関わる研究</p>	<p>井上雅美（大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科） 研究期間：平成26年8月～27年3月 木下 茂（京都府立医科大学視覚機能再生外科学） 研究機関：26年4月～27年9月</p>
<p>II. 研究会事業 (1) 第14回小児科医のための喘息治療フォーラム（共催） 日時：平成26年6月7日（土） 場所：大阪府（ブリーゼプラザ） 参加人数：104名 (2) 第15回南大阪呼吸器フォーラム（共催） 日時：平成26年6月21日（土） 場所：大阪府（ホテルアゴーラリージェンシー堺） 参加人数：49名 (3) 第15回小児・成人喘息フォーラム（共催） 日時：平成26年7月12日（土） 場所：大阪府（アプロズタワー会議室） 参加人数：36名 (4) 第55回気管支喘息勉強会（共催） 日時：平成26年7月26日（土） 場所：大阪府（松下IMPビル） 参加人数：35名</p>	<p>座長：井上壽茂（住友病院小児科） 一般演題 1：井上壽茂（住友病院小児科） 「発作で入院した小児気管支喘息患者の実態」 一般演題 2：岡本奈美（大阪医科大学小児科学） 「発作時のβ₂刺激薬・ステロイドの使い方」 一般演題 3：土谷之紀（つちたにこどもくりにつく） 「発作時対応の患者指導」 特別講演： 座長：岡本奈美（大阪医科大学小児科学） 演者：亀田 誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「気管支喘息の急性期治療から慢性期管理に向けて」 座長：加藤元一（岸和田市民病院呼吸器内科） 一般演題 1：緒方 洋（耳原総合病院） 「ACTとASK20を用いた喘息管理」 一般演題 2：石川秀雄（岸和田盈進会病院） 「呼吸器カテーテルインターベンション overview～咯血・肺動静脈奇形・肺癌～」 特別講演：田中裕士（NPO法人札幌せき・ぜんそく・アレルギーセンター） 「長引く咳の最新の治療～新規配合剤の有用性～」 座長：藤田一彦（大阪医科大学呼吸器内科） 演題 1：洪 真紀（大阪医科大学小児科） 「小児とイネ花粉症」 座長：八上隆行（絡和会音羽病院小児科） 演題 2：寺田 信（市立伊丹病院アレルギー疾患リウマチ科） 「成人のアナフィラキシーあれこれ」 座長：関 庚燁（市立伊丹病院） 特別講演：板澤寿子（富山大学医学部小児科） 「アレルギー疾患における免疫療法」 司会：谷内昇一郎（関西医科大学枚方病院） 福田優子（福田クリニック） 一般演題 1：西藤成雄（西藤小児科） 「幼児の聴診を見直すー呼期末まで吐かせる工夫ー」 一般演題 2：福田博子ほか（大阪府済生会中津病院小児科） 「自己管理を支援するために」 一般演題 3：村田卓士（むらた小児科） 「吸う努力、吸わせる努力」 一般演題 4：白坂弘子（柏原市立堅下北中学校養護教諭） 「学校における喘息管理ー中学生の事例を通してー」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 日本喘息・COPD フォーラム近畿第4回大会 (共催) 日時：平成26年8月30日(土) 場所：大阪府(リーガロイヤルホテル大阪) 参加人数：132名</p>	<p>Opening：東田有智(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科) COPD Session： 座長：平田一人(大阪市立大学医学研究科呼吸器内科学) 木村 弘(奈良県立医科大学内科学) 演題1：佐々木徳久(佐々木内科クリニック) 「COPDの診断及び治療における診診連携の取り組み」 演題2：室 繁郎(京都大学医学研究科呼吸器内科学) 「COPDと全身併存症～GERD/歯周病/骨粗鬆症～」 小児喘息 Session： 座長：井上壽茂(住友病院小児科) 末廣 豊(大阪府済生会中津病院小児科) 演題1：黒坂文武(くろさか小児科アレルギー科) 「姫路市休日・夜間急病センターにおける喘息発作再受診調査結果」 演題2：亀田 誠(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 「小児における吸入ステロイド療法のホットトピックス」 成人喘息 Session： 座長：西村善博(神戸大学医学部附属病院呼吸器内科) 南方良章(国立病院機構和歌山労災病院) 演題1：仲谷宗裕(仲谷診療所) 「とんだばやし喘息病診連携検討会4年間の歩み」 演題2：佐野博幸(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科) 「高齢者喘息における気流制限の検討」 Closing：三嶋理晃(京都大学医学研究科呼吸器内科学) 座長：朝子幹也(関西医科大学耳鼻咽喉科学) 基調講演：鴻 信義(東京慈恵医科大学耳鼻咽喉科学) 「鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡手術の最前線」 座長：友田幸一(関西医科大学耳鼻咽喉科学) 特別講演：川内秀之(島根大学医学部耳鼻咽喉科学) 「スギ花粉症の病態と治療—from the bench to clinic—」</p>
<p>(6) 第3回関西鼻科臨床懇話会(共催) 日時：平成26年9月6日(土) 場所：大阪府(ホテルグランヴィア大阪) 参加人数：65名</p>	<p>司会：友田幸一(関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学) <Lecture> 竹林宏記(大阪みなと中央病院耳鼻咽喉科) 「当科におけるBCR」 朝子幹也(関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学) 「アレルギー性鼻炎関連」 寺田哲也(大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学) 「好酸球性副鼻腔炎関連」 西池季隆(大阪労災病院耳鼻咽喉科) 「若年性血管繊維腫の内視鏡下切除術」 中川隆之(京都大学医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学) 「鼻科手術関連」</p>
<p>(7) 第23回南大阪小児アレルギーカンファレンス(SOPAC)(共催) 日時：平成26年10月16日(木) 場所：大阪府(LIC羽曳野会議室) 参加人数：21名</p>	<p>司会：橋爪孝雄(国立病院機構大阪南医療センター) 一般講演1：高橋真市(大阪府立呼吸器アレルギー医療センター小児科) 「喘鳴で入院になった乳幼児の診断について」 一般講演2：丹羽久生(にわ小児科) 「卵白アレルギー患者に対するBaked Milk負荷試験の試みについて」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(8) 第4回北摂呼吸器疾患吸入フォーラム (共催) 日時：平成26年10月18日(土) 場所：大阪府(千里ライフサイエンス) 参加人数：29名</p> <p>(9) 第8回豊能小児喘息講演会 (共催) 日時：平成26年11月9日(土) 場所：大阪府(千里ライフサイエンス) 参加人数：32名</p> <p>(10) 第35回近畿アトピー性皮膚炎談話会 (共催) 日時：平成26年11月15日(土) 場所：大阪府(住友クラブ) 参加人数：53名</p>	<p>座長：貴島源一(北摂総合病院呼吸器内科) 一般演題1：辻 文生(市立吹田市民病院呼吸器アレルギー内科) 「ノルディックウォーキング」 一般演題2：藤田一彦(大阪医科大学呼吸器内科) 「COPDの吸入療法について～自験例をふまえて～」 座長：前倉亮治(国立病院機構刀根山病院) 特別講演：塩谷隆信(秋田大学医学系研究科保険学専攻) 「COPDにおける身体活動—その向上を目指して—」</p> <p>座長：牧 一郎(市立池田病院) 講演1：蔭山尚正(蔭山小児科) 「保健診療と審査」 座長：松崎香土(市立吹田市民病院小児科) 講演2：住本真一(大阪赤十字病院小児科) 「救急医療から見た小児喘息」</p> <p>テーマ「ステロイド本音トーク」 座長：井上徳浩(国立病院機構大阪南医療センター小児科) 講演1：森田裕司(古座川町国保明神診療所) 「ニュースステーション報道秘話」 講演2：佐藤健二(阪南中央病院皮膚科) 「アトピー性皮膚炎治療における脱保湿の経験」 講演3：錦戸知喜(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 「ステロイド回避により著明な高カリウム血症、脳萎縮、 発達遅滞をきたした乳児重症アトピー性皮膚炎の一例」 座長：片岡葉子(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 特別講演：水谷 仁(三重大学医学系研究科皮膚科学) 「アトピー性皮膚炎診療：理論と治療への私考」</p>
<p>III. 講演会・講習会事業</p> <p>(1) 第73回臨床アレルギー研究会 (共催) 日時：平成26年7月12日(土) 場所：大阪府(薬業年金会館) 参加人数：83名</p>	<p>座長：平口雪子(大阪府済生会中津病院小児科))</p> <p>セッション1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 武村 司ほか(国立病院機構大阪南医療センター小児科) 「負荷試験を中心とした食物アレルギー診療がもたらすもの」 2) 高橋真市ほか(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科) 「喘鳴を主訴に入院した乳幼児の診断について」 3) 大崎慶子ほか(大阪府済生会中津病院小児科) 「蓮根による即時型アレルギーの一例」 4) 奥田英右ほか(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科) 「メチルエフェドリンによるアナフィラキシーの一例」 5) 八幡陽子ほか(大阪警察病院皮膚科) 「若年性側頭動脈炎の1例」 <p>セッション2</p> <ol style="list-style-type: none"> 6) 豊田成徳ほか(西宮市立中央病院呼吸器内科) 「スエヒロタケによるアレルギー性気管支肺真菌症の一例」 7) 沖本奈美ほか(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科) 「エベロリムスによる薬剤性間質肺炎の2症例」 <p>座長：片岡葉子(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科) 特別講演：谷口正実(国立病院機構相模原病院臨床研究センター) 「成人難治性喘息の実態、アスピリン喘息を中心に」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 第 74 回臨床アレルギー研究会 (共催) 日時：平成 26 年 11 月 29 日 (土) 場所：大阪府 (薬業年金会館) 参加人数：81 名</p>	<p>セッション 1 座長：朝子幹也 (関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 濱津頼子ほか (大阪赤十字病院呼吸器内科) 「理学療法士介入により吸入療法継続し得た高齢認知症患者の一例」 2) 馬谷昌範ほか (大手前病院耳鼻咽喉科) 「当科での好酸球副鼻腔炎症例の検討」 3) 榎原新平ほか (大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 「慢性副鼻腔炎における炎症局在についての検討」 4) 吉田卓也ほか (市立ひらかた病院耳鼻咽喉科) 「当科における急速免疫療法の検討」 5) 高田真紗美ほか (関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 「好酸球性副鼻腔炎手術症例の疫学的診断基準作成等に関する研究班診断基準からみた当科の ECRS 症例の検討」 6) 横山彩佳ほか (関西医科大学耳鼻咽喉科) 「HFA-BDP 鼻呼出療法が奏効した重唱喘息合併難治性 ECRS の 2 例」 7) 別所 優 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科) 「ムコダインによる非色素沈着型固定薬疹の 1 例」 <p>セッション 2 座長：田中敏郎 (大阪大学医学研究科抗体医薬臨床応用学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 8) 生田昌子 (大阪警察病院呼吸器内科) 「オマリズマブ再投与、再々投与を行い、コントロールを試みた難治性喘息の一例」 9) 佐伯 翔ほか (近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科) 「高齢喘息患者における服薬アドヒアランスとコントロールに影響する因子の検討」 10) 南 崇史ほか (市立吹田市民病院呼吸器内科) 「多種果物野菜アレルギーにおける component-resolved diagnostics」 11) 井庭憲人ほか (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科) 「当科における卵白緩除経口免疫療法開始 6 ヶ月後の摂取状況について」 12) 竹村 豊ほか (近畿大学医学部小児科) 「ミツバチ免疫療法を施行した 5 歳男児例」 13) 片田圭宣 (市立堺病院腎代謝免疫内科) 「オオハリアリによるアナフィラキシー」 14) 新垣智也 (大阪府済生会中津病院小児科) 「救急医療機関におけるアナフィラキシー対応について」 <p>座長：井上徳浩 (国立病院機構大阪南医療センター) 特別講演：光畑裕正 (順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター麻酔科学・ペインクリニック) 「アナフィラキシーショックの診断と治療」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>IV. 啓発活動事業</p> <p>1. 第 21 回アレルギー週間</p> <p>(1) 市民公開講座 in 奈良 日時：平成 27 年 2 月 7 日（土） 場所：奈良県（奈良市北部年会館） 参加人数：61 名</p> <p>(2) 市民公開講座 in 京都 日時：平成 27 年 2 月 8 日（日） 場所：京都府（メルパルク京都） 参加人数：32 名</p> <p>(3) 市民公開講座 日時：平成 27 年 2 月 8 日（日） 場所：和歌山県（和歌山県民文化会館） 参加人数：31 名</p> <p>(4) 市民公開講座 in 大阪 日時：平成 27 年 2 月 14 日（土） 場所：大阪府（朝日生命ホール） 参加人数：76 名</p> <p>(5) 第 11 回滋賀アレルギーフォーラム 日時：平成 27 年 2 月 15 日（日） 場所：滋賀県（滋賀県立県民交流センター） 参加人数：96 名</p>	<p>市民公開講座・相談会（患者等一般市民向け） テーマ「アレルギーにうち勝つ」 開催挨拶：東田有智（日本アレルギー協会関西支部支部長） 司会：村木正人（近畿大学医学部奈良病院呼吸器・アレルギー内科） 講演 1：中井義紀（近畿大学奈良病院耳鼻咽喉科） 「スギ花粉を治す免疫療法～気長な治療で花粉症改善～」 司会：南部光彦（天理よろづ相談所病院小児科） 講演 2：末廣 豊（大阪府済生会中津病院小児科・免疫アレルギーセンター） 「こどものぜん息～みんなで学んで、さわやかライフ～」 Q & A コーナー「いただいたご質問にお答えします」</p> <p>テーマ「アレルギーと上手く付き合うために」 司会：松本久子（京都大学医学部附属病院呼吸器内科） 第 1 部：金谷久美子（京都大学医学研究科健康情報学分野） 「黄砂・PM2.5 とアレルギー」 第 2 部：出島健司（京都第二赤十字病院耳鼻咽喉科・気管食道外科） 「花粉症を治すー鼻アレルギー最前線ー」</p> <p>テーマ「アトピーと花粉症」 司会：古川福実（和歌山県立医科大学皮膚科学） 講演 1：辰田仁美（和歌山ろうさい病院第 2 呼吸器内科） 「その症状、喘息かもー気管支喘息の診断と治療ー」 講演 2：藤原啓次（いちご耳鼻咽喉科クリニック） 「スギ花粉に備えましょう～免疫治療と初期治療～」</p> <p>テーマ「アレルギー疾患の新しい対応・対策-鼻アレルギー・食物アレルギー」 挨拶：東田有智（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 総合司会：東田有智（日本アレルギー協会関西支部支部長） 第 1 部：寺田哲也（大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 「なおせるのかな、花粉症ー舌下免疫療法って何？ー」 第 2 部：末廣 豊（大阪府済生会中津病院小児科、免疫アレルギーセンター） 「食物アレルギー～みんなで学んで、さわって安心～」 Q & A コーナー「頂いた質問にお答えします」</p> <p>テーマ「アレルギー症状に悩まされる皆さんの手助けになれば」 司会：野々村和男（守山市民病院小児科） 第 1 部：有方雅彦（滋賀医科大学耳鼻咽喉科） 「2015 年春季花粉飛散予測、舌下免疫療法について」 第 2 部：山口将史（滋賀医科大学呼吸器循環器内科） 「心配になる長引く咳～特に喘息と COPD について～」 第 3 部：【食物アレルギーの対応】 ①楠 隆（滋賀県立小児保健医療センター小児科） 「子どもの食物アレルギーによる死亡事故を防ぐための滋賀県の取り組みについて」 ②野々村和男（守山市民病院小児科） 「食物アレルギーの対応ー日頃の注意と緊急時対応」 第 4 部：しつもん（Q & A）の時間</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(6) 市民公開講座 日時：平成 27 年 2 月 21 日（土） 場所：兵庫県（兵庫県民会館） 参加人数：94 名</p> <p>2. 医師向け</p> <p>(1) 第 56 回気管支喘息勉強会（共催） 日時：平成 27 年 1 月 24 日（土） 場所：大阪府（ツイン 21MID タワービル 20 階） 参加人数：41 名</p> <p>(2) 第 16 回京都アレルギークロストーク（共催） 日時：平成 27 年 2 月 19 日（木） 場所：京都府（メルパルク京都） 参加人数：60 名</p> <p>(3) 第 11 回大阪アレルギーネットワーク（共催） 日時：平成 27 年 2 月 19 日（木） 場所：大阪府（天王寺都ホテル） 参加人数：74 名</p> <p>(4) 第 21 回アレルギー週間学術講演会（共催） 日時：平成 27 年 2 月 26 日（木） 場所：和歌山県（ガーデンホテルハナヨ） 参加人数：14 名</p> <p>3. 一般向け</p> <p>(1) 喘息児童の自然に触れ合う野外教室（共催） 平成 26 年 6 月～平成 26 年 11 月 日帰り又は 2 泊 3 日の日程で年 3 回実施</p>	<p>テーマ「アレルギーとうまくつきあおう」 挨拶・司会：西村善博（神戸大学医学部附属病院呼吸器内科） 第 1 部：田中裕也（神戸市立医療センター中央市民病院小児科） 「喘息と鼻炎を一緒に治すー One airway one disease」 第 2 部：原田 晋（はらだ皮膚科クリニック） 「アトピー性皮膚炎に関する最近の話題と治療法」 しつもん「Q & A」コーナー</p> <p>テーマ「喘息の新しい考え方」 司会：末廣 豊（大阪府済生会中津病院） 井上徳浩（大阪南医療センター） 講演 1：井上壽茂（住友病院小児科） 「ガイドラインにおける吸入ステロイドの位置付け」 講演 2：長尾みづほ（国立病院機構三重病院） 「NO、FOT（forced oscillation technique）によるモニタリング」</p> <p>座長：平家俊男（京都大学医学研究科発達小児科学） 特別講演 1：中山俊憲（千葉大学医学研究院免疫発生学） 「Pathogenic Th2 細胞による慢性アレルギー性気道炎症制御」</p> <p>座長：三嶋理晃（京都大学医学研究科呼吸器内科学） 特別講演 2：浅野浩一郎（東海大学医学研究科呼吸器内科学） 「重症喘息の病型と免疫病態」</p> <p>座長：金澤 博（大阪市立大学医学研究科呼吸器内科学） 講演①：山田一宏（大阪市立医学研究科呼吸器内科学） 「喘息と真菌アレルギー」 講演②：春日彩季（大阪市立医学研究科発達小児医学） 「心理的ケアが必要な血管性浮腫の小児例」</p> <p>座長：菅原弘二（大阪市立大学医学研究科皮膚病態学） 特別講演：千貫裕子（島根大学医学部皮膚科学教室） 「知っておきたい！アレルギー診療のポイント」</p> <p>座長：古川福実（和歌山県立医科大学皮膚科） 講演 1：嶽 良博（だけクリニック耳鼻咽喉科・アレルギー科） 「実地臨床におけるアレルギー性鼻炎の治療」 講演 2：金澤伸雄（和歌山県立医科大学皮膚科） 「進化する乾癬治療ー患者さんのアドヒアランス向上のためにー」</p> <p>主催：大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科主任部長 土居 悟 第 1 回：平成 26 年 6 月 1 日 大阪市立信太山青少年野外活動センター：参加児 18 名 第 2 回：平成 26 年 8 月 22 日～24 日 大阪府立青少年海洋センター：参加児 32 名 第 3 回：平成 26 年 11 月 30 日 大阪府立少年自然の家：参加児 32 名</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 第 38 回テストィパルグループ栄養士全体研修会（後援） 日時：平成 26 年 7 月 5 日（土） 場所：大阪府（大阪 OMM 会議室） 参加人数：336 名</p>	<p>挨拶：藤井俊成（株式会社テストィパル取締役社長） 講演：亀田 誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「食物アレルギー正しい知識で安全・安心な食事を」</p>
<p>V. その他（会議等） 第 3 回関西支部幹事会 日時：平成 26 年 6 月 18 日（火） 場所：ホテルグランヴィア 出席者：15 名</p>	<p>主たる議題 1) 関西支部新理事，新評議員選任の承認 2) 支部正会員入会への取り組み 3) 一般市民への医薬品名非提示の確認 4) 支部事業での事業費増加に対する検討</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究会事業 医療従事者を対象の研究会 (1) 第10回中国・四国喘息研究フォーラム （後援） 日時：平成26年8月30日（土） 場所：ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス 参加者：約60名</p> <p>(2) 第26回中国・四国臨床アレルギー研究会 （共催） 日時：平成26年8月31日（日） 場所：岡山国際交流センター 2F 国際会議場 参加人数：約50名</p> <p>(3) 第6回鳥取県中部吸入療法研究会（後援） 日時：平成26年9月30日（火） 場所：鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム5 参加人数：約30名</p> <p>(4) 第8回岡山吸入療法研究会（共催） 日時：平成26年11月12日（水） 場所：岡山コンベンションセンター 1F イベントホール 参加人数：約80名</p>	<p>講演：三輪高喜（金沢医科大学耳鼻咽喉科学） 「アレルギーと嗅覚障害」 浅野浩一郎（東海大学医学部内科学系呼吸器内科） 「これからの喘息治療の課題」</p> <p>一般演題：11 演題 特別話題：宮崎 大（鳥取大学医学部感覚運動医学講座視覚病態学分野） 「重症アレルギー性結膜炎の診療とアップデート」</p> <p>特別講演： 久良木隆繁（鳥根県立中央病院呼吸器科） 「最新の喘息治療と吸入指導について」</p> <p>シンポジウム： 谷本 安（国立病院機構南岡山医療センター） 小笠原加代（岡山県薬剤師会） 「吸入療法を適切に行うための病業連携」</p> <p>特別講演： 黨 康夫（同愛記念病院アレルギー・呼吸器科） 「最新の喘息治療～酸化ストレスに対するICSの効果～」</p>
<p>II. 研修会事業 医療従事者を対象の研修会 (1) 薬剤師研修会（共催） 日時：平成26年8月3日（日） 場所：津山中央健康管理センター 受講者：約20名</p> <p>(2) 薬剤師研修会（共催） 日時：平成27年3月1日（日） 場所：岡山国際交流センター 2階国際会議場 受講者：約40名</p>	<p>第4回吸入療法のための連携推進研修会 司会：森 英樹（岡山赤十字病院薬剤部） 講師：木村五郎（国立病院機構南岡山医療センター） 「吸入指導の必要性と吸入療法の実践」</p> <p>第5回吸入療法のための連携推進研修会 司会：森 英樹（岡山赤十字病院薬剤部） 講師：木村五郎（国立病院機構南岡山医療センター） 「吸入指導の必要性と吸入療法の実践」</p>
<p>III. 講演会事業 医療従事者および一般市民を対象の講演会 公開講座 岡山アレルギーシンポジウム 2014 サマーセミナー（共催） 日時：平成26年7月26日（土） 場所：国立病院機構南岡山医療センター 大会議室 参加人数：約100名</p>	<p>テーマ「食とアレルギー」 講演：水内秀次（国立病院機構南岡山医療センター小児科） 「こどもの食物アレルギー～上手につきあっていくためのポイント～」 田中純子（倉敷市立帯江小学校栄養教諭） 「食物アレルギー～学校現場でのとりくみ～」 藤原愉高（国立病院機構南岡山医療センター皮膚科） 「食とアトピー性皮膚炎～皮膚科からのメッセージ～」</p> <p>討論会： 個別相談：</p>

実 施 事 業	概 要
<p>IV. 啓発活動事業 第 21 回アレルギー週間 (1) 島根県 日時：平成 27 年 2 月 10 日 (火) 場所：島根大学医学部附属病院 外来棟 3 階 だんだん 参加人数：約 30 名</p> <p>(2) 島根県 日時：平成 27 年 2 月 14 日 (土) 場所：平成記念病院 参加人数：約 20 名</p> <p>(3) 広島県 日時：平成 27 年 2 月 22 日 (日) 場所：リーガロイヤルホテル広島 3 階瀬戸の間 参加人数：約 200 名</p> <p>(4) 岡山県 日時：平成 27 年 3 月 1 日 (日) 場所：岡山国際交流センター 2 階国際会議場 参加人数：約 90 名</p> <p>(5) 山口県 日時：平成 27 年 3 月 1 日 (日) 場所：周東総合病院 東 7 階講堂 参加人数：約 50 名</p>	<p>アレルギー疾患の診断と治療 患者さんのためのセミナー 講演：羽根田泰宏（島根大学医学部附属病院小児科） 「アレルギー疾患の病態と治療戦略」 竹谷 健（島根大学医学部附属病院輸血部） 「小児における食物アレルギーの現状とその対策」 川内秀之（島根大学医学部附属病院耳鼻咽喉科） 「スギ花粉症の現状とシダトレンを用いた舌下免疫療法」</p> <p>患者さんのためのスギ花粉症セミナー 講演：川内秀之（島根大学医学部耳鼻咽喉科） (1) 「2014 年のスギ花粉飛散について」 (2) 「スギ花粉アレルゲンを用いた舌下免疫療法のお話」 (3) アレルギー治療薬の上手な使い方」</p> <p>アレルギー週間の集い 2015 in 広島 アレルギー・花粉症うそ？ほんとう？ 講演：高路 修（こうろ皮ふ科） 「アトピー性皮膚炎－ふたたび悪化因子とその対策－」 岡島宏易（JA 広島総合病院小児科） 「食物アレルギーについて－小児期の食物アレルギーを中 心に、皆様を知っておいていただきたいこと－」 春田吉則（広島アレルギー呼吸器クリニック八丁堀） 「勘違いの多いぜんそくの知識」 竹野幸夫（広島大学病院耳鼻咽喉科） 「鼻アレルギーと花粉症対策のポイント 2015」</p> <p>個別相談：</p> <p>アレルギー週間の集い 2015 県民公開講座「岡山アレルギー疾患講演会」 アレルギーへの新しい取り組み－ 2015 － 講演：山中隆夫（国立病院機構南岡山医療センターリウマチ科） 「よく眠れていますか～アレルギー疾患と睡眠～」 黒岡昌代（国立病院機構南岡山医療センター看護部） 「これってアレルギー？その上手な伝え方－食物アレル ギーを中心に－」 池田政憲（岡山大学大学院小児急性疾患学講座） 「寛解・治癒をめざした小児喘息の治療」</p> <p>個別相談：</p> <p>アレルギー週間の集い 2015 in 柳井 ～こどものアレルギーについて考えよう～ 講演：長谷川真成（山口県立総合医療センター小児科） 「食物アレルギーについて正しく知ろう！」 長谷川俊史（山口大学大学院小児科） 「こどものぜんそくについて正しく知ろう！」 こどものアレルギー相談の時間：</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 講演会・講習会事業</p> <p>(1) 第11回徳島膠原病・リウマチ県民講座 日時：平成26年6月15日 場所：長井記念ホール 参加人数：292名</p> <p>(2) 第37回高知喘息アレルギー研究特別講演会 日時：平成26年7月29日 場所：ザ・クラウンパレス高知新阪急ホテル 参加人数：60名</p> <p>(3) 高知県気管支喘息フォーラム2014 日時：平成26年10月27日 場所：ホテル日航高知旭ロイヤル 参加人数：47名</p>	<p>講演1：岸 潤（徳島大学呼吸器・膠原病内科） 「膠原病・リウマチ疾患の臓器症状」</p> <p>講演2：豊田優子（徳島大学呼吸器・膠原病内科） 「膠原病・リウマチ疾患の皮膚症状」</p> <p>講演3：山村佳子（徳島大学歯科口腔外科） 「膠原病・リウマチ疾患の口腔症状」</p> <p>講演4：井原 香（徳島県健康増進課） 「行政における難病対策について」</p> <p>講演5：井上昌幸（徳島大学眼科） 「膠原病・リウマチ疾患の眼症状」</p> <p>講演6：宮田淳也（市立三野病院内科） 「膠原病・リウマチ疾患の関節症状」</p> <p>特別講演：大久保公裕（日本医科大学頭頸部・感覚器科学） 「アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法について」</p> <p>講演：足立 満（国際医療福祉大学臨床医学研究センター） 「気管支喘息治療の最近の話題－ICS/LABA 配合剤の使い分け－」</p>
<p>II. 啓発活動事業</p> <p>アレルギー週間</p> <p>(1) アレルギーの集い in 松山 日時：平成27年2月11日 場所：いよてつ高島屋 参加人数：68名</p> <p>(2) 高知アレルギーフォーラム2015 日時：平成27年2月15日 場所：国立病院機構高知病院 参加人数：12名</p> <p>(3) 香川アレルギーフォーラム2015 日時：平成27年2月21日 場所：高松赤十字病院 参加人数：42名</p> <p>(4) 徳島アレルギーフォーラム2015 日時：平成27年2月22日 場所：徳島市民病院 参加人数：39名</p>	<p>講演1：高橋宏尚（鷹ノ子病院耳鼻咽喉科） 「ここまでわかった花粉症」</p> <p>講演2：阿部聖裕（愛媛医療センター呼吸器内科） 「喘息は怖い？怖くない？」</p> <p>講演3：小谷信行（松山赤十字病院副院長） 「アトピーと食物アレルギー」</p> <p>第一部：</p> <p>講演：大石 拓（高知大学医学部小児思春期医学） 「食物によるアナフィラキシーへの対応について」</p> <p>クイズ：関 博之（町立仁淀病院耳鼻咽喉科） 「舌下免疫療法について」</p> <p>森澤 豊（けら小児科アレルギー科） 「小児喘息について」</p> <p>第二部 個別医療相談：</p> <p>講演1：山本晃義（高松赤十字病院呼吸器内科） 「香川県における気管支喘息診療の現状」</p> <p>講演2：中村陽一（みなと赤十字病院アレルギーセンター） 「気管支喘息と花粉症～最近の話題～」</p> <p>第一部 ミニレクチャー：</p> <p>講演1：杉本真弓（徳島大学病院小児科） 「小児の食物アレルギーについて」</p> <p>講演2：北村嘉章（徳島大学病院耳鼻咽喉科） 「舌下免疫療法（新しい花粉症の治療）について」</p> <p>講演3：佐野隆宏（幸地内科小児科） 「新しい喘息の検査：NOについて」</p> <p>第二部 個別相談、体験コーナー：</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究助成事業</p> <p>1. 空中花粉調査研究</p> <p>2. 学術交流研究助成</p>	<p>1) 福岡市2ヶ所の耳鼻科医院において、問診表による花粉症発症状況調査。2ヶ所の耳鼻科において、スギ花粉症患者受診数と花粉飛散量との経年関係検討</p> <p>2) 九州各県の大学耳鼻科における九州の空中花粉調査(27年目)</p> <p>3) 花粉情報 福岡県、九州各県花粉情報広報活動（27年目） （福岡県医師会、九州各県医師会と日本気象協会福岡本部との共同活動） 新聞、ラジオ、テレビ</p> <p>4) 日本列島の空中花粉分布調査（28年目） 全国15ヶ所で花粉を採取し、福岡病院で算定し、花粉地図、カレンダー作成</p> <p>第45回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術総会（平成26年6月28日～29日） 会場：福岡ソフトリサーチパーク（SRP）センタービル2階 福岡市早良区百道浜） 会長：岸川禮子（国立病院機構福岡病院アレルギー科）</p>
<p>II. 啓発活動事業</p> <p>1. 第21回アレルギー週間（医師向け）</p> <p>(1) 鹿児島県（共催） 日時：平成27年2月5日（木） 場所：城山観光ホテル5F ルビホール飛天 参加人数：112名</p> <p>(2) 熊本県（共催） 日時：平成27年2月18日（水） 場所：ホテル日航熊本 5F 天草 参加人数：94名</p>	<p>座長：黒野祐一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）</p> <p>講師：西馬場理恵（鹿児島大学病院皮膚科） 「チェスト！アドキュア（ADcure）～アトピー性皮膚炎教育入院の試み～」</p> <p>牧瀬高穂（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 「スギ舌下免疫療法における留意点」</p> <p>町田健太朗（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学） 「各種吸入薬デバイスの使い方と注意点」</p> <p>座長：河野嘉文（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学）</p> <p>講師：藤澤隆夫（国立病院機構三重病院副院長） 「アレルギー診断のピットフォールを考える：検査をいこなすために」</p> <p>座長：興梶博次（熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学）</p> <p>講師：福田浩一郎（熊本市民病院呼吸器内科） 「気管支喘息診療のPoint～GINA2014から教えられるもの～」</p> <p>座長：湯本英二（熊本大学生命科学研究部耳鼻咽喉科・頭頸部外科）</p> <p>講師：岡野光博（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） 「スギヒノキ花粉症の新しい病態と治療を考える」</p> <p>座長：尹 浩信（熊本大学生命科学研究部皮膚病態治療再建学分野）</p> <p>講師：古江増隆（九州大学大学院医学研究院皮膚科学） 「アトピー性皮膚炎の最新の話」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 佐賀県（共催） 日時：平成 27 年 2 月 19 日（木） 場所：マリトピア 3F 安土の間 参加人数：53 名</p> <p>(4) 福岡県（共催） 日時：平成 27 年 2 月 21 日（土） 場所：天神ビル 11 階 10 号会議室 参加人数：74 名</p>	<p>座長：成澤 寛（佐賀大学医学部内科学皮膚科） 講師：高橋浩一郎（佐賀大学医学部内科学血液・呼吸器・腫瘍内科） 「アレルギー性気道炎症に対する LABA の免疫調整作用の解析」 在津正文（佐賀大学医学部小児科） 「外食で除去食品を摂取し、アナフィラキシーをきたした症例」 橋本明子（佐賀大学医学部内科学皮膚科） 「エビによる FDEIA の 1 例」 座長：倉富勇一郎（佐賀大学医学部耳鼻咽喉科） 講師：宗 信夫（宗耳鼻咽喉科） 「鼻のアレルギー（花粉症）と免疫療法」</p> <p>(一部) 最近の話題、トピックスその I 座長：久保千春（国立大学法人九州大学総長） 講師：濱崎雄平（佐賀整肢学園からつ医療福祉センター） 「小児のアレルギー疾患における最近の話題 小児気管支喘息治療・管理—最近の情報を踏まえて—」 古江増隆（九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野） 「皮膚科のアレルギー疾患における最近の話題」</p> <p>(二部) 最近の話題、トピックスその II 座長：西間三馨（国立病院機構福岡病院名誉院長） 講師：松元幸一郎（九州大学大学院医学研究院附属胸部疾患研究施設） 「呼吸器内科領域のアレルギー疾患における最近の話題 喘息—COPD オーバーラップ症候群（ACOS）」 黒野祐一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） 「耳鼻科のアレルギー疾患における最近の話題—花粉症の病態・治療の進歩—」</p>
<p>2. その他の医師向け</p> <p>(1) 第 14 回長崎 Asthma 研究会（共催） 日時：平成 26 年 7 月 3 日（金） 場所：ベストウエスタンプレミアホテル 長崎 3F トパーズルーム 参加人数：78 名</p> <p>(2) 第 7 回 KASCOM 総会（共催） 日時：平成 26 年 8 月 2 日（土） 場所：ホテルニューオータニ博多 3 階 芙蓉の間 参加人数：142 名</p>	<p>座長：福島千尋（長崎大学病院臨床研究センター） 講師：尾長谷 靖（長崎大学病院第二内科） 「標準治療では管理が困難だった気管支喘息に一例」 座長：河野 茂（長崎大学病院病院長） 講師：山内広平（岩手医科大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野） 「気管支喘息の病態と治療—高齢者喘息治療を含めて—」</p> <p>座長：藤田次郎（琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学（第一内科）） 講師：白石武史（福岡大学医学部外科学講座呼吸器・乳腺内分泌・小児科学講座）</p> <p>座長：岩永知秋（国立病院機構福岡病院病院長） 講師：一ノ瀬正和（東北大学大学院呼吸器内科学分野） 「Asthma COPD Overlap Syndrome」</p>
<p>3. 一般向け</p> <p>(1) 喘息市民公開講座（共催） 日時：平成 26 年 8 月 3 日（日） 場所：レンブラントホテル大分 2F 二豊の間 参加人数：100 名</p>	<p>講師：川山智隆（久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科（第一内科）） 「喘息治療はここまで進歩しています」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 第10回福岡病院 アレルギー・喘息教室 日時：平成26年12月6日(土) 場所：国立病院機構福岡病院 研修・情報センター1F CR4 参加人数：77名</p> <p>(3) 福岡市開催(主催) 日時：平成27年2月22日(日) 場所：天神ビル 11F 10号会議室 参加人数：約80名</p> <p>(4) 鹿児島市開催(共催) 日時：平成27年3月7日(土) 場所：キャンセ 7F 参加人数：32名</p> <p>(5) アレルギー談話室</p>	<p>座長：下田照文(国立病院機構福岡病院臨床研究部) 講師：古森雅志(国立病院機構福岡病院呼吸器内科) 「大人の喘息」 小野倫太郎(国立病院機構福岡病院小児科) 「子供の喘息」 松崎寛司(国立病院機構福岡病院小児科) 「こどもの食物アレルギー」 岸川禮子(国立病院機構福岡病院アレルギー科) 「おとなの食物依存性運動誘発 アナフィラキシー」</p> <p>第21回アレルギー週間記念講演会 ーアレルギーのポイント・日常生活をより快適にー 司会：西間三馨(日本アレルギー協会九州支部長) 講師：宗 信夫(宗耳鼻咽喉科医院) 「花粉症」 岩永知秋(国立病院機構福岡病院病院長) 「喘息：成人」 小田嶋 博(国立病院機構福岡病院副院長) 「喘息：小児」 久保千春(国立大学法人九州大学総長) 「アレルギーとストレス」 内尾英一(福岡大学医学部眼科) 「アレルギー性結膜炎」 中原剛士(九州大学大学院医学研究院・医学部皮膚科体表感知学講座) 「アトピー性皮膚炎」</p> <p>質問・実習コーナー 泉田純子(国立病院機構福岡病院小児アレルギーエドクター) 「アトピー性皮膚炎のスキンケアコーナー」 金子恵美(国立病院機構福岡病院小児アレルギーエドクター、小児看護専門看護師) 「喘息の吸入方法と質問コーナー」</p> <p>第68回耳の日ならびにアレルギー週間公開講座 司会：宮下圭一(鹿児島大学病院耳鼻咽喉科) 講師：宮下圭一(鹿児島大学病院耳鼻咽喉科) 「きこえのしくみと難聴」 川島雅樹(鹿児島大学病院耳鼻咽喉科) 「きこえを取り戻すー補聴器と人工内耳」 宮之原郁代(鹿児島大学病院耳鼻咽喉科) 「スギ花粉症治療の新たな選択肢ー舌下免疫療法はどんな治療？」</p> <p>1851回(平成27年3月29日放送)</p>